



# 学校だより

浜小HP <http://www.ama-net.ed.jp/school/E15/index.html>

H30.6.1(金) NO.4  
尼崎市立浜小学校  
校長 中根 孝介  
06-6499-1536



【浜小学校教育目標】 ころ豊かでたくましく自ら学び続ける子

- ① もいやりのある子 (徳育) …他人を思いやり、共生感のもてる子
- ② ながえる子 (知育) …筋道だてて考え、自尊心のもてる子
- ③ んきな子 (体育) …たくましい心と体で意欲のもてる子
- ④ ランティアの心 (志) …人に役立つ喜びのもてる子

若葉の緑があざやかな季節になってまいりました。休み時間には子ども達が運動場で元気に遊ぶ姿が目にとまります。

さて、浜小学校のめざす子ども像に「おかげボ」があります。子どもはいつも大人の望むように育ってくれるとは限りません。各ご家庭でも多かれ少なかれ、「子育て」について思い悩むこともあるのではないのでしょうか。学校でも同様で「どうしたら子ども達をのばしていけるのか」悩み考え続け、工夫改善を重ねているところです。

何年か前の国の調査では、「親が子どもに望む性格特性」で「思いやり」が一番になっていました。しかし、実際に「思いやりの心」を育てるにはどうしたらよいのか、明確な答えはないのではないのでしょうか。「思いやりの心」を育てるためには、「これが正解」というものはありませんが、いくつかポイントがあると言われておりますので紹介します。ご参考までにどうぞ。

## (1) 子ども自身に、思いやってもらった実感をもたせることが必要です。

自分自身が十分に思いやってもらってない人は、周りの人を十分に思いやることはできません。自分のことを注目してもらっている、存在を認めてくれている、尊重してくれているという実感が必要です。周りの人から尊重してもらい、愛情が注がれることによって、思いやりが育っていきます。

### ① まずは、子どもの話に耳を傾け、子どもに共感する。

「そうか、そうか。そうやったんやね。」「どうしたの?」「どう思ったの?」「～したかったんだあ。」「～がいやだったんだね。」「～してほしかったんだあ。」・・・

子どもは、もともと「自分のことをわかってほしい」「自分の話を聞いてほしい」「自分に振り向いてほしい」と思っています。その思いがよい行動に出ることもありますが、時には逆に大人から見ると困った行動に出してしまうこともあります。子どもの困った行動に対しても、まずは、十分話を聞いて、共感することが大切です。親や大人が困るような行動をしても、本当は、一番困っているのは子ども自身です。

子どもの気持ちに寄りそうことで、「親や大人は、いつも自分のことをわかってくれる、守ってくれる」存在であることを認識します。

### ② 自分(親や大人)の考えを伝える。

「こうした方がよかったんじゃない。」「これは、危ないよ(友達が怪我をしちゃうよ)。」「あなたが～すると、困るんだけど…。」「そんなことをすると、悲しいな」

いくら共感することが大事だといっても、子どもの話を聞いて、よくない行動を容認してしまうのは考えものです。子どもをよい方向に導くためには、自分の考えを伝え、どうしたらよかったのか方向性を伝えていく必要があります。

### ③ 本人の考えを促す。

「どうしたらよかったと思う?」「次からは、どうする?」「〇〇ちゃん、悲しかったと思うよ。どうしたらいい?」「～したいんだったら、こうしてみたら。」

最後は、子ども本人が考え、行動し、自立していかなければいけません。よりよい判断をして、よりよい行動をとることができるよう、大人が導いてあげましょう。

## (2) 親や周囲の大人が思いやりのある行動をすることが大切です。

「電車やバスでお年寄りなどに席をゆする」「人が落とした物を拾う」「困っている人に声をかける」など、当たり前のことかもしれませんが、大人から率先して実践していく。

子どもは、親や周囲の大人の行動をよく見ています。そして、まねることによって自分のものにしていくこともたくさんあります。周囲の大人がよりよい行動を示し実践することで、子どもにもそれが自然と身についていきます。子どもと一緒に考え、一緒に行動してみるのもよいかもしれません。もちろん、いくら大人といえども失敗したり、できなかったりすることもあるので、すべてが100点満点である必要はありません。失敗や間違いは素直に認め、次はどうしたらよいか一緒に考えてみるとよいと思います。

## (3) 「ほめる」「感謝する」「認める」ことが、自信と意欲を高めます。

「～できるなんて、すごいねえ。」「ありがとう。おかげで気持ち良くなったわ。」「～してくれるおかげで、いつも助かっているよ。」

子どもに限らず誰でも人からほめられたり、感謝されたりすると悪い気持ちはしません。それが自分の喜びにつながることも多いはず。周囲の大人が「ほめる」「感謝する」「認める」ことで、子どもは自分のしたことがよかったことだと思い、安心感を持ちます。何気ないことでも、子どものよい行動を認めたり、「ありがとう」の気持ちを伝えたりすることが、子どもの大きな喜びや自信につながり、次への意欲になります。

「思いやりの心」を育てるためには、他にも「思いやりの大切さとその理由について、機会をとらえて話をする」「自分の感情をコントロールする方法を教える(イライラした時は、1～10まで数え深呼吸するなど)」ことなども必要かもしれません。何事も一朝一夕にはうまくいかないで、根気よく実践していくことが大切ではないかと思えます。

裏面に続きます



## 《自然学校》



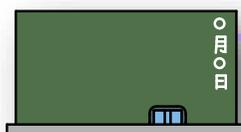
6月4日～6月8日の間、5年生が美方高原自然の家で4泊5日を過ごします。野外炊事やキャンプファイヤーをはじめ、田植えや沢登り、ツリーイングなど自然に親しむ、楽しい活動がもりだくさんです。家庭を離れて、友達と集団生活をする中でルールやマナー、協力する大切さなども学べるよい機会だと思います。安全に注意して、楽しく充実した活動ができればと思います。



## 《各種検診》



学校では、4月以来、内科や耳鼻科、歯科、眼科等、様々な健康診断が行われています。検診で何か異状がありましたら、学校よりお知らせいたします。受診のお知らせが届きましたら、かかりつけ医など、病院で診察を受けていただきますようお願いいたします。



## 《生活がんばり表チェック週間》

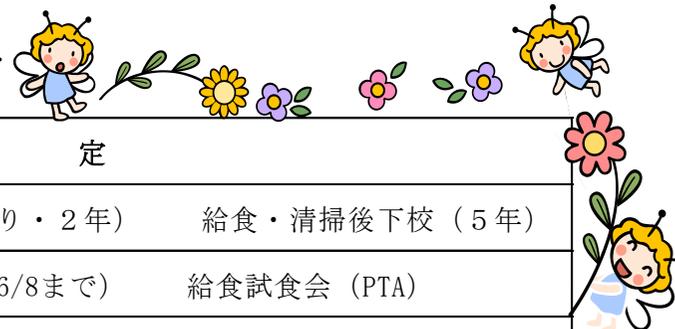
18日から生活がんばり表チェック週間が始まります。生活がんばり表（浜っ子10のがんばり表）は、例年、子ども達が規則正しい生活習慣・家庭学習の習慣を身につけることをねらいとして行っています。

毎年4月に行われている全国学力学習状況調査の結果を見ると、浜小学校では、日頃の生活習慣や家庭学習の量ややり方にも課題があることがわかってきています。生活がんばり表チェック週間を定期的実施し、各家庭でも励ましの声をかけていただいているおかげもあり、9割を超える児童が宿題をするようにはなっています。しかし、まだまだ家庭での学習時間は少ない傾向にあり、学校でも宿題の量や内容について工夫をしていこうと考えています。子ども達に基礎基本を徹底し、学力を向上させていくためには、指導方法の工夫や改善など学校での取り組みはもちろんです。規則正しい生活や家庭学習を定着させていくことも大切です。引き続き、ご協力をお願いいたします。



## 6月

### <行事予定>



日	曜日	予 定
1日	金	歯科検診（ひまわり・2年） 給食・清掃後下校（5年）
4日	月	自然学校（5年・6/8まで） 給食試食会（PTA）
7日	木	自転車教室（3年）
11日	月	朝会 給食・清掃終了後下校（5年）
13日	水	集団登校指導
14日	木	集団登校指導
18日	月	集会 クラブ
19日	火	ゴミマイスター出前授業（4年）
21日	木	水泳指導開始
25日	月	朝会 クラブ活動
27日	水	和太鼓鑑賞会
30日	土	オープンスクール 浜っ子フェスティバル 引き渡し訓練



### <7月の主な予定>

- 7月 2日（月） 代休日
- 7月12日（木） 講演会・懇談会
- 7月18日（水） 給食終了
- 7月20日（金） 終業式・大掃除
- 7月21日（土） 夏季休業日（～8月26日）
- 7月23日（月）～24日（火） なかよしキャンプ
- 7月23日（月）～27日（金） 夏季水泳指導・学習会等



### <8月の主な予定>

- 8月11日（土）～17日（金） 節電のための学校閉鎖期間
- 8月27日（月） 2学期始業式…本年度より、夏季休業日が短縮されています。